

キアシクロハラボソコマユバチ ハチ目コマユバチ科

Meteorus flavicoxa Maeto

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

国内では3道県でしか採集されておらず、本県が分布の西限となっている。また、採集例も少ないことから、比較的珍しい種といえる。

形態

体長は10mm内外で、メスの産卵管が長いのが特徴である。体は黒色、脚は黄色を呈している。

国内分布

北海道（豊平峡、野幌）、山形県長者原、石川県白山でしか採集されていない。

県内分布

県内では、白山の標高1,500~1,700mの区間で採集されているのみである。

生態

鱗翅類の幼虫に寄生するものと思われるが、種類については不明である。

生息地の条件

亜高山帯に生息する。

生存の危機

白山の特別保護地区に生息しているため、現在のところ生存を脅かす要因はないと思われる。

特記事項

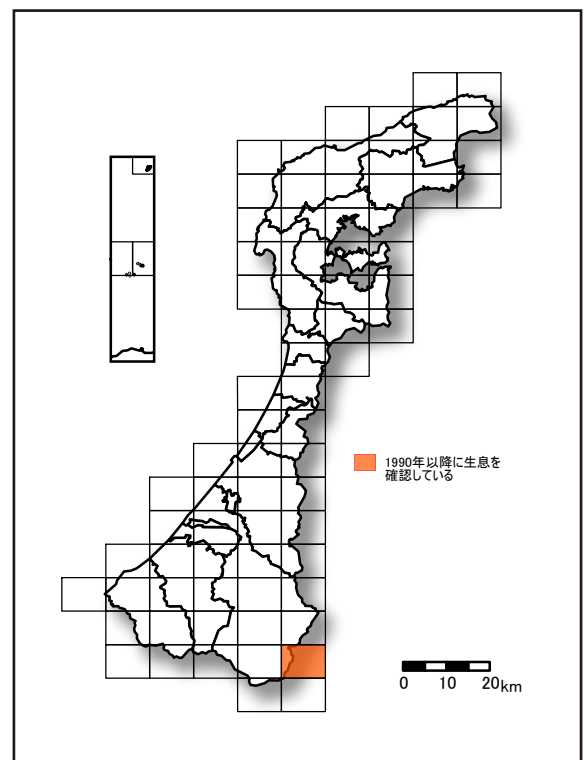
白山の特別保護地区内に生息する。

参考文献

Maeto, K. 1986. Systematic Studies on the Tribe Meteorini from Japan (Hymenoptera, Braconidae) II. The *corax* Group of the Genus *Meteorus* HALIDAY. Kontyu, Tokyo, 54(3): 405-413.

富樫一次 2002. 加賀白山初記録の昆虫類（第4報）. 石川県白山自然保護センター研究報告 第29集: 7-16.

写真（図）はありません。



県内の分布